

かじかのさとだより

第34号

発行/〒889-2401 日南市北郷町大藤甲3186番地1/TEL0987(55)3738 FAX0987(55)3739

社会福祉法人 愛泉会 特別養護老人ホーム 河鹿の里



坂友様と娘さん



稲倉様とお嫁さん



徳井様とお嫁さん



村中様と娘さん



釈迦郡様とお嫁さん



折田衛様と息子さん

感謝の集い

五月は母の日、六月には父の日がありますが、河鹿の里では、去る五月十日に「お父さんお母さん感謝の集い&五月文化祭」を開催しました。

御家族の皆様をお招きして、ふれあいのひとときを過ごされました。御家族が利用者様の側に寄り添う姿がとてもほほえましく、時には感激し、涙する姿もみられました。利用者様も普段ではみられないようなすばらしい笑顔にあふれていました。御家族とはいいものですね。私達職員にも感動や喜びが伝わってきました。短い時間ではありましたが、皆様にとつてかけがえのない一日になったことと思います。

これからも、皆様の素敵な笑顔が沢山みられますように、一日一日を大切に過ごして頂けるよう、職員一同努めて参りたいと思います。最後に、お忙しい中おいで下さった御家族の皆様には感謝し、職員一同心から御礼申し上げます。

※ 写真、名前の掲載はご家族、ご本人の承諾を得ています。

★いつもより意識がはつきりしない
 ★ここ三日間、食事が減っている
 ★発熱(三十七度)以上が一日以上続いている
 ★いつも汗を多くかいている

チェックして見ましょう！
 チェック欄

皆様！暑い毎日をどのように凌いでいらっしゃるでしょうか。今回は、熱中症や脱水症について、取り上げてみました。参考資料で自己チェックをされ、予防に努めて頂けたらと思います。

暑くなり熱中症発症の季節となりました。熱中症は体温調節ができず体温が上昇し、発汗により体内の水分や塩分量が不足する為に、脳への血流も悪くなり脳の機能も低下してしまいう状態です。高齢になると体温調節力や発汗機能が低くなる為、室内でも熱中症になりやすいと言われていきます。予防として、室内の温度に気をつけることも大事ですが、一番の予防は水分補給です。細めに少しづつ一日に千cc(千六百cc)を摂るように心がけ、熱中症にならないようにしていく事が大事です。

デイサービス



あじさいドライブで皆様と(酒谷)

「あじさいドライブ」
 日南から串間に抜ける「あじさいロード」には、その名の通り、色とりどりのあじさいの花が植えられ、その美しさに皆様、感激され夢中で見入る姿には、自然と微笑みがこぼれていました。
 目的地「道の駅酒谷」に向か

★暑い場所に長時間いた
 ★下痢や嘔吐がここ三日間で三回以上みられた
 ★いつもより尿の回数や量が少ない
 ★便秘気味である
 ★唇が乾いている
 ★舌が乾いている、舌に亀裂がある
 ★脇の下が乾いている
 ★いつもより皮膚の張りがない、また冷たい

「自分では行けないので良かった」「こんなきれいな所があるとは知らなかった」「来年もまた参加したい」などのうれしい感想がきかれました。デイサービスでは、これから皆様方に喜んで頂ける様々な園外活動を企画していきたいと思っています。

「自分では行けないので良かった」「こんなきれいな所があるとは知らなかった」「来年もまた参加したい」などのうれしい感想がきかれました。デイサービスでは、これから皆様方に喜んで頂ける様々な園外活動を企画していきたいと思っています。

う車中では、名ガイドの美声トークで大変盛り上がり、すばらしい笑顔が沢山見られました。道の駅では、それぞれ買物をされ、楽しいドライブとなりました。

認知症介護実践研修
 副主任 齋藤 竹井 仁子
 高齢者の三大精神疾患に、せん妄、うつ病、認知症があげられます。それぞれの疾患には原因がありますが認知症の原因は、アルツハイマー型の脳血管型が要介護高齢者の半数を占め、二〇二五年には認知症高齢者が約三二〇万人に達すると言われています。高齢者及びその家族の生活全体を見据えたものに見直す時期が来ている、介護のあり方も新しい認知症介護の知識が求められてきています。認知症は治らない病気だが、私達の支援次第でひどくなったりなくなったりする周辺症状がある事、問われる支援はこの症



様も物を捨てられないでいませんか。デイサービスでは、これからの色々な物を再利用して、ますますエコ活動に頑張ってください。

編集後記



河鹿の園庭では、今年もナスが沢山収穫できました。早速たたての新鮮なナスをお味噌汁で頂きました。

状態にある事を理解する五日間の研修を受講し、その後一ヶ月間に渡り新しい認知症介護を職場実習で実践しました。認知症状況や行動は、認知症の人の時代背景やどの様に生きてきたかを知り家族も含めたその人らしい生活全体の支援を行う事で安心感が得られました。実感した成果を活かし利用者の皆様に「心地良い暮らしの支援が出来る介護職員になる事をスタッフ一同で目指していきたいと考えます。

私の母は昭和三年四月二十一日生まれの八十一才、子供は昭和二十二年生まれの長男私と一つ下の弟の二人だけです。当時にしたらちよつと少ないですよ。若い頃はスポーツ万能だったとか、その裏返しでしょうが、女性としての、洋裁・和裁・編み物などは嫌いで殆どしませんでした。特にこれといった趣味もありません。私の父である夫は、酒は飲まず、タバコもせず、本来妻がすべきことを率先してしてくれるなど、とても優しく接してくれていましたので、何事にも大して苦労することなく、とても幸せな家庭生活を送ることが出来たと思います。優しさが仇になったのか、何でも自分中心で、時に



福田フミ子様

母の
まなざし

は夫に對して命令口調になつたりすることが多々ありました。しかし、嫁に對しては、自分のものは嫁のものと氣前良く、孫にも過保護と
思ふくらい必要以上に優しく接してくれていました。もし孫がそばからいなくなつたら趣味のない母親はきつと呆けるだらうなと心配していましたが、予感的中し、二人の孫が次々に高校を卒業して関西の大学に行つてから、徐々におかしくなり徘徊がひどくなりました。見守つてゐる夫に對して文句を言つたり、暴言や物を投げたり、同じことを繰り返したり、夫が近くにいないと昼間でも家の中に一人でいることが出来ずに探し回つたりで、介護に當たつた夫はストレスが溜まつたり大変苦勞しました。夫はそのストレスが主な原因で、低かつた血圧が上昇して、高血圧性慢性腎不全になつて人工透析をすることになつてしまいました。もつと早い段階で対応していれば共倒れも防げたのではないかと後悔しています。

河鹿の里に入所させてもらつてからは職員の方の対応もすばらしく、母も笑顔が多くなつてきましたし感謝しています。待つことが出来

大正十年七月二十八日生
 母は油津で家具屋を営む父、倉元吉三郎、母ソノの娘、六人姉妹の三女として生まれまゐりました。学校を卒業後は油津の信用組合で働いておりソロバンは得意中の得意



石崎ミサヲ様

「母」

母の姉妹は皆他界しており、残っているのはもう母一人となりました。

結婚後は一男三女を育てあげました。様々な苦勞があつたようです。でも持前の明るさで苦勞ものりこえて頑張つておりました。

子供達も成長し今からのんびり楽しい毎日と思つていたところ長男、長女とあいついでなくし大変悲痛な何年かであつたと思います。

この頃より母の様子がおかしくなつたように思います。おそらく認知症が始まつていたのかなと思ひ早く気付いてあげられなかつた事が悔まれます。母もきつと大変なショックだったのでしよう、あたりまえの事です。が、いつも明るく、よく鼻歌をうたつていた母をもう長い間見ていない事に気付き、あの元氣だつた時の母の笑顔 pensando うたえるようになればいいのになと思います。

いつもニコニコしていた母、母の顔から次第に笑顔が消えて今ではたまにしか見せなくなりました。

河鹿の里でお世話になるようになってからはまた笑顔が見れるようになり心よ

福田様、石崎様の御家族様
温かいお手紙をありがとうございます。
皆様が、これからもお幸せ
に、又、健康に過ごされます
様に。

いつも元気なミサヲ様、御家族の協力もあり、月に二回、三回、自宅に外泊され、楽しいひとときを過ごされています。これからも御家族とのふれあいを大切にお元気で長生きをして頂きたいと思います。

担当職員より

りうれしく思っています。
スタッフの皆様方には大
変お世話になり心より感謝
いたしております。
これからも母の事よろし
くお願い致します。

林 典子(娘)

林典子(娘)

昔の思い出
私の仕事



河野 三省様

魚の行商をされていた河野さんは、生協の鮮魚部に五年勤め自分で商売を始められました。店と移動販売を一人で行い、朝三時に市場に仕入れに行きました。食品衛生の資格を取得し、大会では賞を頂いたそうで市のイベントではマグロの解体もされていたそうです。



小玉 義治様

十七歳から漁師一筋の小玉さんは南郷の漁船に属されていました。一番の好物を釣り上げたのは、二百kgのマグロだったそうです。「漁の後に刺身を作り皆で飲み食いする事が楽しかった。昔は景気も良くどの船も大漁旗が上がつちよったとよ。」と語って下さいました。

頑張っています



河野三三子様

行事やクラブ活動、又訓練にと、意欲的に取り組まれる姿に他の利用者様も感心され、皆のお手本の様に頑張っていると思います。

無理して体調を崩されないよう気を付けて下さいね。



幾嶋 孝雄様

十八歳の時に自動車免許を取得後、関東自動車隊司令部、司官運転手として勤務。その後、日南市でマル井プロパン会社社に勤められ、退職後は交通安全協会支部会長として、毎朝、交通安全指導にあたられたそうです。話の最後に、「私はどんなに天候が悪くても、小学校登校がある限り一日も休まなかつた。」と語って下さいました。

車イスリレー競争



「ヨーイ、スタート！」の掛け声で始まった車椅子リレー競争。この日の為に毎週水曜日に行進曲に合わせ、園内廊下廻りを行って来ました。その成果がでたように皆様、他のチームに負けない様に必死に車椅子をこいで頑張っていました。利用者の皆様も活気ある声援を送られとても盛り上がりました。



七夕ホーム喫茶



七月七日、七夕祭が行われました。この日をむかえる迄に短冊に願いを込め笹飾りを作りました。ホーム喫茶では、浴衣姿の職員達を利用者の皆様から注文をお受けし、清涼感のあるデザートを味わって頂きました。アトラクションでは、ハンドベルの美しい音色に心が和むひとときでした。



作品展示



北郷郵便局
に利用者の皆
様が、クラブ
活動や趣味で
製作された作
品が展示され
ています。お
時間がありま
したら、是非
御覧頂きたい
と思います。力
作揃いですよ。

レクリ
エーション
**ボ
ー
リ
ン
グ**



レクリエーション活動で、ボーリング競技を行いました。最初は、恥ずかしいなどと言われていた方も、いざボールをもたれると元氣良くなつそうと投げられ、

ペットボトルのピンが倒れると歓声があがりました。

昔ボーリング場に通った方は、当時を思い出され、懐かしそうでした。

皆様、楽しいひとときを過ごされました。